

## 令和4年度 大阪大学歯学部附属歯科技工士学校 学校関係者評価シート

点検項目	1	入学志願者など
自己評価	1	3:優れている 2:適切 1:改善が必要
自己点検・ 今後の課題等		<p>【オープンキャンパス】 令和4年度は7・9・11月に対面で開催したが、コロナ感染流行前の参加人数に至らなかった。オープンキャンパス参加者は本校を受験する者が多い傾向にあり、まずは参加者を増やす対策として次年度はWebも併用した開催を検討し、年度初めに学校PRをできるよう動画などの準備を検討している。</p> <p>【募集要項】 7月開催のオープンキャンパス開催日より入試日決定が後のスケジュールになっている。今後は、募集要項がオープンキャンパスで配布できるよう努めたい。</p> <p>【本校ホームページ】 スマートフォンなどの携帯端末による閲覧に適したホームページに刷新を検討している。SNSと連動した学校広報ができるよう準備を進める予定である。</p>
学校関係者評価	1	3:優れている 2:適切 1:改善が必要
評価理由・ ご意見等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の公立や私立の技工学校より格段の費用の安さを最大限にアピールしていただきたい。</li> <li>・受験者数の半減には正直驚いた。制限が緩和される状況になってきているので、オープンキャンパスではできるだけ対面で参加者と話ができるようになればよい。そのことが、歯科技工について知っていただく機会となって、より興味を持っていただき、入学志願者の増加につながればよいと思う。</li> <li>・オープンキャンパス参加者数が減少した原因を分析するべきだと思う。</li> <li>・他の養成校はどうだったのか等、比較対象のデータも必要である。</li> </ul>

令和4年度 大阪大学歯学部附属歯科技工士学校 学校関係者評価シート

点検項目	2	学生指導
自己評価	2	3:優れている 2:適切 1:改善が必要
自己点検・ 今後の課題等		<p>【授業内容】 今年度は講義・実習すべて対面授業で実施した。学生は、対面授業で毎日登校する生活習慣となり、学びやすい環境となった。しかし、コロナに感染した際には10日間自宅待機が求められるため、教員は欠席学生の指導などの配慮が必要であった。 コロナ禍から始まった実習時の大画面モニターの活用が定着し、教員実技を動画保存することで学生の実習進度にあわせて閲覧可能にした指導も行えた。</p> <p>【進路指導】 進路指導は2年次4月・7月の2度進路アンケートを実施し、就職希望者には希望する会社に就職できるよう個人面談をおこなって会社訪問などをサポートした。進学希望者には志望理由書や実技試験のサポートを実施した。</p>
学校関係者評価	3	3:優れている 2:適切 1:改善が必要
評価理由・ ご意見等		<p>・授業が対面でできるようになったこと、令和4年度は退学者がなかったことは十分に評価できる。</p> <p>・コロナ禍での対面授業は学校側も生徒にとっても大変であったと思う。その状況での退学者数がゼロであったことは、先生方の努力の賜物でなのではないか。</p> <p>・業界からの求人票の全てとまではいなくても8割方の企業には、学校の就職担当者が実際に足を運び、その会社がどのような環境で、どのような社員を求めているのかを自分の目で観て、学生の就職において何を希望しているのか何が足りないのか、可能な限りミスマッチの確立を低く抑える努力も必要であるかと思う。</p>

## 令和4年度 大阪大学歯学部附属歯科技工士学校 学校関係者評価シート

点検項目	3	進路状況
自己評価	2	3:優れている 2:適切 1:改善が必要
自己点検・ 今後の課題等		<p><b>【就職】</b>                      求人件数は180件で延べ500人の求人数を超え、コロナ禍以前に回復した。前年度より採用条件がさらに好条件の会社が多数見受けられた。                      就職希望の学生は、個々によって希望する労働条件が異なるため、希望条件の優先順位を丁寧に聞き取ることを心がけた。                      7月・8月には会社訪問し、10月までに第一希望の就職内定を得ることができた。学生は一度きりの訪問でも、労働条件よりも職場の雰囲気から就職先を決定していた。</p> <p><b>【進学】</b>                      附属病院研修制度は2年次の6月に学内説明会を開催した。希望者には募集要項を印刷配布し実技試験の指導も実施した。大学編入希望者には志望理由書や出願書類の準備サポートをおこなった。</p>
学校関係者評価	2	3:優れている 2:適切 1:改善が必要
評価理由・ ご意見等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生全員の進路が決定したことはよかったと思う。</li> <li>・近年、歯科技工士は売り手市場が続いていると認識している。日本の人口はこの先減少を続け、臨床の現場ではデジタル化が進み続ける。しかし、歯科技工士が飽和状態になぜならないのかを産学共同で考えていく必要がある。</li> <li>・歯科技工業界の就労環境が改善傾向にある。他業界と比較して抜き出るような改善を経営者側も努力が必要だと思う。</li> </ul>

令和4年度 大阪大学歯学部附属歯科技工士学校 学校関係者評価シート

総合評価		
自己評価	2	3:優れている 2:適切 1:改善が必要
今後の課題等	<p>今後ますます20歳人口が減少する中での学生募集は、幅広い年齢をターゲットとした「学びなおし」の機会を提供できる場として、本校への関心を高める必要がある。</p> <p>来年度は入試日を1か月程度早めて、受験者の早期から進路選択肢のひとつに選ばれるように学校広報を努めていきたい。オープンキャンパスは対面だけでなく、YouTubeなどで動画配信などの広報も検討し、参加人数を増やして本校受験者数を増加につなげたいと考える。</p> <p>本校のコロナ感染対策は、学内のマスク着用や各学年担任による学生登校時の検温記録や授業終了後の机の消毒を行っているが、教員の負担も大きい。しかし、昼食など飲食も伴う環境下であるため、まだしばらく継続する必要がある。</p> <p>一人ひとりに寄り添い何でも相談できる環境づくりを目指し、学生にとって2年間の充実した学生生活だったと言われるように尽力したいと考える。</p>	
学校関係者評価	2	3:優れている 2:適切 1:改善が必要
評価理由・ご意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学者が少なくなっている状況ではあるが、先生方には、一人でも多くの優秀な歯科技工士の育成に努めていただきたい。</li> <li>・国立であるブランド力をもっと前面に出していただきたい。学びの場が臨床に近いこと等、貴校にしかない強みがあると思う。</li> <li>・今時の若者は何を見て情報収集するのか、入学から卒業までの学生に対する先生方の義務と責任は経営者側も同様だと感じている。</li> </ul>	